

令和5年度事業報告書

事業の概要

令和5年度（以下「今年度」という。）においては、一般法人法等の関連法案及び定款に遵守した会の運営に務めるとともに、定款に定めた目的及び事業を達成するため、当該年度事業計画の活動指針に沿って、教育・学術・文化の振興のための各種事業を滞りなく実施した。

また、6月開催の定時社員総会において、任期満了に伴う理事を改選し、新理事を選任するとともに、社員総会終了後開催の新理事による理事会を開催し、会長、副会長、専務理事及び常務理事を互選し、新たな執行体制を構築した。

計画していた各種事業について、平成10年の授賞制度改正以降、26回目を迎えた令和5年度アカデミア賞表彰事業は、会員から推薦のあった候補者について、選考委員会において慎重に選考を重ね、理事会の議を経て、文化・社会部門から3名の受賞者を決定した。授賞式は、多くの会員の協賛のもとに盛大にかつ好評のうちに催された。

この詳細については、本会HP及び会誌ACADEMIA No195 2024.2に掲載されている。

第12回（2023年度）アカデミア教育研究助成事業は、会員のほか各都道府県及び政令指定都市の各教育委員会、並びに関係教育機関へ応募要項を送付するとともに、本会HPに掲載するなど広く周知を図り、1件の応募が得られた。選考委員会において選考を重ねた結果、助成するに至らない内容だったため、理事会の議を経て、今回は該当無しとした。

講演会等については、恒例のアカデミア賞受賞者による記念講演のほか、10月森里海を結ぶフォーラム共催「宮崎海山交流シンポジウム」、11月沖縄支部創立30周年記念シンポジウムを開催した。これらの詳細は、会誌ACADEMIA及び本会HPに掲載している。なお、宮崎海山交流シンポジウムについては、No196 2024.4に掲載の予定である。

昭和21年創刊の機関誌「会誌ACADEMIA」は、2012年以降環境に関連する課題を取り上げ、今年度もさらなる充実を図るとともに、多くの関係者の協力を得て滞りなく5回刊行し、会員及び関係機関等に広く配布した。

主な事業

1. 教育・学術・文化の振興のための顕彰及び助成

1) 文化・社会及び国際交流に著しく貢献した人材に対するアカデミア賞の授与

令和6年1月27日（土）都ホテル京都八条において、令和5年度アカデミア賞授賞式を挙行し、次の各氏に対しいアカデミア賞を授与した。

「文化・社会部門」

大橋 力氏：文明科学研究所長、芸能山城組組長、芸術家

授賞理由：世界初の「ハイパーソニック・エフェクト」の発見並びに環境情報学をはじめとする独創的な新学際領域開拓等の世界的功績

「文化・社会部門」

田中優子氏：法政大学名誉教授、法政大学特任教授、前法政大学総長

授賞理由：江戸文学・文化研究の第一人者として日本近世文化・アジア比較文化の発展に寄与した功績

「文化・社会部門」

竹内洋文氏：岐阜薬科大学名誉教授、岐阜薬科大学特任教授

授賞理由：「人に優しい製剤設計」をポリシーとした圧縮成形の基礎研究並びに粒子設計法の確立など、薬学の発展に寄与した数々の功績

2. 教育・学術及び文化に関する講演会及びセミナー等の開催

1) 本部主催講演会等

①森里海を結ぶフォーラム共催

日向海山交流シンポジウム「椎葉の奥山と日向の海を結ぶー海山交流の今日的意義」

開催日時：2023年10月7日（土）13時～17時10分

開催場所：日向市文化交流センター（小ホール）

- I. 趣旨説明 森里海を結ぶフォーラム代表、全国日本学士会常務理事 田 中 克
- II. 山から海へ、海から山への問題提起
- 「椎葉村の奥山で焼畑農業に生きる」 焼畑蕎麦苦楽部代表 椎 葉 勝
- 「日向の海の恵みに生きる」日向市漁業協同組合平岩採介藻グループ代表 高 橋 和 範
- III. 山と海の間を結ぶ
- 「山間地の伝統的民俗文化継承の意義」宮崎大学地域資源創成学部准教授 井 上 果 子
- 「伝統的知恵としての雑穀栽培を見つめる」
- ブリティッシュコロンビア大学作業医学部 小 倉 沙央里
- 「有明海の再生を願う森里海のクヌギ林づくり」
- 佐賀県大浦漁業協同組合・森里海を結ぶフォーラム委員 平 方 宣 清
- 「海の森づくりの現場から」 平岩採介藻グループ 岩 本 愛
- 「三陸の後方支援の文化とふるさと創生」 ふるさと創生大理事 藤 井 洋 治
- IV. 意見交換 司 会：総合地球環境学研究所教授 阿 部 健 一
- V. 閉会挨拶 全国日本学士会理事、(社医) 泉和会千代田病院理事長 千代反田 晋

②沖縄支部創立30周年記念シンポジウム「これからの沖縄の持続可能な発展を目指して」

開催日時：令和5年11月12日（日）13時～17時30分

開催場所：パシフィックホテル沖縄

- I. 主催者挨拶 琉球大学名誉教授・全国日本学士会沖縄支部長 佐 藤 良 也
- II. 講演《コーディネーター：京都大学名誉教授、全国日本学士会常務理事 田 中 克》
- 講演1「沖縄の持続可能な発展の方向性を考える：時代の変化を見すえて」
- 琉球大学学長 西 田 睦
- 講演2「沖縄経済の変容と展望 - 比較優位の視点から -」
- 前沖縄県副知事、沖縄国際大学名誉教授 富 川 盛 武

講演3 「沖縄の風土に根ざした心理臨床の可能性」

沖縄国際大学総合文化学部教授 片本 恵利

講演4 「沖縄県の健康長寿復興を見据えた医学研究と社会実装の展開」

琉球大学大学院医学研究科教授 益崎 裕章

III. 総合討論

②令和5年度アカデミア賞受賞記念講演

開催日時：令和6年1月27日（金）11時～12時30分

開催場所：都ホテル京都八条「陽明殿」

大橋 力氏：文明科学研究所所長、芸能山城組組頭、芸術家

演題：「学術・技術・芸術が分化しないアプローチとハイパーソニック・エフェクトの発見」

田中 優子氏：法政大学名誉教授、前法政大学総長、法政大学江戸東京研究センター特任教授

演題：「江戸学は何の役に立つのか？」

竹内 洋文氏：岐阜薬科大学名誉教授、岐阜薬科大学特任・特命教授

演題：「人にやさしい製剤開発の実現に向けて」

3. 機関誌の刊行

『会誌 ACADEMIA』の発行

○No.191 2023.4 「こころ豊かな未来のか・た・ち」

趣旨「成長とは何か？－未来の子どもたちに笑顔あふれるバトンを手渡せるのだろうか？－」

東北大学名誉教授 石田 秀輝

「未来の子供たちに手渡せるバトンを創りたい！」

(一社)サステナブル経営推進機構理事長 石田 秀輝

「ミツバチから学ぶコミュニティの共創」

同志社大学客員教授 服部 篤子

「人生100年時代の認知機能維持について考える」

京都大学名誉教授員 積山 薫

「制約を味方につけたライフスタイル変革－価値なきものを価値あるものへ－」

東京都市大学環境学部教授 古川 柳蔵

「心豊かな未来に向けて日本の森をモリアゲよう！」

(株)モリアゲ代表 長野 麻子

「心豊かな未来の日本経済」

公益社団法人日本証券アナリスト協会専務理事 神津 多可思

「心豊かな未来のか・た・ち－社会的共通資本の視点から－」

内科医、宇沢国際学館代表取締役 占部 まり

「私たちは天刑を天啓にできるか。」

(株)ヤマップ代表取締役 CEO 春山 慶彦

「子どもこそ未来」

森のようちえんウィズナチュラ代表 岡本 麻友子

○No.192 2023.7 第2回森里海を結ぶフォーラム「森に暮らして海を想い、海に暮らして森を想う」

趣旨説明「第2回森里海を結ぶフォーラム開催の背景と今後の展開」

森里海を結ぶフォーラム代表 田中 克

事務局 下田 智幸

伊勢神宮式年遷宮ドキュメンタリー「うみ やま あひだ～伊勢神宮の森から響くメッセージ～」
を語る

映画プロデューサー、株式会社 GENERATION11 代表 鎌田 雄介

「うみ やま あひだ〜伊勢神宮の森から響くメッセージ〜」制作トークセッション

映画プロデューサー、株式会社GENERATION11代表 鎌田 雄介

池田木材株式会社代表取締役社長 池田 聡寿

京都大学名誉教授、舞根森里海研究所所長 田中 克

基調講演 「森は海の恋人、海は森の恋人」 NPO 法人森は海の恋人理事長 畠山 重篤
山（森）と海を結ぶ意見交換の広場

話題提供1 「山から海へ」 郡上市里山保全組織「猪鹿庁」長官 興膳 健太

話題提供2 「海から山へ」 鳥羽磯部漁業協同組合答志支所 漁師 小浦 嘉門

話題提供3 「里海と里山」 広島大学名誉教授 松田 治

海遍路：伊勢湾「長良川河口域から伊勢湾口までシーカヤックで巡る旅」

海遍路リーダー、NPO 法人横浜シーフレンズ理事長 糸井 孔帥

○№193 2023.10 「持続可能な日本の食と農のあり方を考える」

持続可能な日本の食と農のあり方を考える」 龍谷大学名誉教授 河村 能夫

命館大学国際関係学部教授 河村 律子

「日本農業の持続性と家族農業」 近畿大学名誉教授 池上 甲一

「農業と環境をめぐる持続可能性をどうとらえるかー関係論的視点からー」
名古屋大学大学院環境学研究科教授 立川 雅司

「日本農業の持続性を支える地域志願管理と農業コミュニティ」
岡山大学学術研究院環境生命自然科学学域准教授 本田 恭子

「種子と人間との豊かな関係から考える持続可能な農業」
龍谷大学経済学部国際経済学科教授 西川 芳昭

「日本型畜産における持続的発展の課題と可能性」
広島大学大学院統合生命科学研究科准教授 長命 洋祐

「6次産業化と都市型マルシェから見えてくる日本の持続的食農のあり方」
京都府立大学大学院生命環境科学研究科講師 中村 貴子

○№194 2023.12 一般社団法人全国日本学士会沖縄支部創立30周年記念シンポジウム

「これからの沖縄の持続可能な発展を目指して」

I 趣旨説明 琉球大学名誉教授、(一社)全国日本学士会沖縄支部長 佐藤 良也

II 講演 《コーディネーター：(一社)全国日本学士会常務理事 田中 克》

講演1 「沖縄の持続可能な発展の方向性を考える：時代の変化を見すえて」
琉球大学学長 西田 睦

講演2 「沖縄経済の変容と展望 - 比較優位の視点から -」
前沖縄県副知事、沖縄国際大学名誉教授 富川 盛武

講演3 「沖縄の風土に根ざした心理臨床の可能性」
沖縄国際大学総合文化学部教授 片本 恵利

講演4 「沖縄県の健康長寿復興を見据えた医学研究と社会実装の展開」
琉球大学大学院医学研究科教授 益崎 裕章

III 総合討論

○№195 2023.2 「令和5年度アカデミア賞」

・令和5年度アカデミア賞受賞者業績概要

【文化・社会部門】

大橋 力氏：文明科学研究所所長、芸能山城組組頭

【文化・社会部門】

田中 優子氏：法政大学名誉教授、前法政大学総長

【文化・社会部門】

竹内 洋文氏：岐阜薬科大学名誉教授、岐阜薬科大学特任・特命教授

・アカデミア賞受賞記念講演

「学術・技術・芸術が分化しないアプローチとハイパーソニック・エフェクトの発見」

文明科学研究所所長、芸能山城組組頭 大橋 力

「江戸学は何の役に立つのか？」

法政大学名誉教授、法政大学江戸東京研究センター特任教授 田中 優子

「人にやさしい製剤開発の実現に向けて」

岐阜薬科大学名誉教授、岐阜薬科大学特任・特命教授 竹内 洋文

・アカデミア賞授賞式・祝賀懇親会

・アカデミア賞歴代受賞者一覧 授賞制度改正（平成10年度）以降

4. その他の事業

「理事会・定時社員総会開催」

①第1回理事会

日時：令和5年6月23日（金）午後2時～3時

場所：都ホテル京都八条「深草の間」

- 議案：1. 令和4年度事業報告
2. 令和4年度公益目的支出計画実施報告書
3. 令和4年度収支決算（財務諸表）

②定時社員総会

日時：令和5年6月23日（金）午後3時～4時

場所：都ホテル京都八条「深草の間」

- 議案：1. 令和4年度事業報告（報告）
2. 令和4年度公益目的支出計画実施報告書（報告）
3. 令和4年度収支決算（財務諸表）
4. 役員（理事・監事）改選

③第2回理事会

日時：令和5年6月23日（金）午後4時～4時30分

場所：都ホテル京都八条「深草の間」

- 議案：1. 会長、副会長、専務理事、常務理事選任
2. 評議員改選
3. 沖縄支部創立30周年記念シンポジウム「これからの沖縄の持続可能な発展を目指して」開催

4. 第3回森里海を結ぶフォーラム「日向海山交流シンポジウム」開催

④第3回理事会

日時：令和5年11月24日（金）午後2時～3時

場所：新都ホテル「八坂の間」

議事：1. 令和5年度アカデミア賞選考

2. 第12回（2023）年度アカデミア教育研究助成選考

3. 沖縄支部創立30周年記念シンポジウム「これからの沖縄の持続可能な発展を目指して」開催報告

4. 第3回森里海を結ぶフォーラム「日向海山交流シンポジウム」開催報告

⑤第4回理事会

日時：令和6年3月29日（金）午後2時～4時

場所：都ホテル京都八条「八坂の間」

議事：1. 令和5年度事業報告

2. 令和5年度収支決算

3. 令和6年度事業計画

4. 令和6年度収支予算

5. 令和6年度定時社員総会開催

6. 令和6年度アカデミア賞選考委員会設置

7. 第7次アカデミア教育研究助成選考委員会設置

8. 業務執行理事(会長・専務理事)の職務執行状況(報告)